# ろうさい病院便り

第65号

令和8年3月1日号広報ちはら台へ掲載しました

## ヨウ素（ヨード）造影剤のお話し

千葉ろうさい病院
中央放射線部長　木村　文治

医療機関でCTなどの画像検査を受ける際、病気をより分かりやすく調べるために「造影剤」を使用することがあります。造影剤にはバリウムなどいくつか種類がありますが、今回は、X線検査で使われる「ヨウ素（ヨード）造影剤」についてお話しします。

ヨウ素（ヨード）はX線吸収度が高い特徴があり、造影剤は生体内で高吸収域に（白く）描出されます。ヨウ素（ヨード）造影剤は、臓器・組織間のコントラストを向上させ、病変の検出や診断を行うことができ、血管を描出し、病変の血行動態を把握すること等ができます。

一般にCTで使用される造影剤は、ヨウ素を含んだ無色無臭で粘り気の強い液体です。使用する造影剤の濃度と容量は、体重や検査目的に応じて使い分けられます。

注入された造影剤は、心臓から各組織の細胞外液腔を循環し、投与後約6時間で約90%が腎から尿中へ排出され、24時間後にはほぼ全量が体外へ排泄されます。

このヨウ素（ヨード）の生産は、国内では特に千葉県の生産量が多くヨードの世界的な供給源となっており、地下にある常総層群の地層は水溶性天然ガス及びヨードの有力な鉱床を含み、水溶性天然ガスとヨードの生産量は日本一を誇ると言われています。

最後になりますが、造影剤には一定の頻度で次のような副作用が生じることが知られています。軽微なものとして吐き気、動悸、かゆみ、くしゃみ、発疹、発赤が100人中数人に、重篤な副作用として血圧低下、息苦しさ、意識消失、腎不全など、まれに命に関わる副作用が10万人に4人の頻度で生じることがあります。

検査前確認として問診や腎機能チェック等が行われますので造影検査の際はご協力をお願い致します。

なお、当院では造影剤使用時の副作用発生時の対応として、多職種合同で座学と実践形式の研修会を年に数回実施し、安全安心な医療の提供に努めております。

ろうさい病院便り 第65号

ヨウ素（ヨード）造影剤のお話し

千葉ろうさい病院
中央放射線部長　木村　文治

医療機関でCTなどの画像検査を受ける際、病気をより分かりやすく調べるために「造影剤」を使用することがあります。造影剤にはバリウムなどいくつか種類がありますが、今回は、X線検査で使われる「ヨウ素（ヨード）造影剤」についてお話しします。

ヨウ素（ヨード）はX線吸収度が高い特徴があり、造影剤は生体内で高吸収域に（白く）描出されます。ヨウ素（ヨード）造影剤は、臓器・組織間のコントラストを向上させ、病変の検出や診断を行うことができ、血管を描出し、病変の血行動態を把握すること等ができます。

一般にCTで使用される造影剤は、ヨウ素を含んだ無色無臭で粘り気の強い液体です。使用する造影剤の濃度と容量は、体重や検査目的に応じて使い分けられます。

注入された造影剤は、心臓から各組織の細胞外液腔を循環し、投与後約6時間で約90%が腎から尿中へ排出され、24時間後にはほぼ全量が体外へ排泄されます。

このヨウ素（ヨード）の生産は、国内では特に千葉県の生産量が多くヨードの世界的な供給源となっており、地下にある常総層群の地層は水溶性天然ガス及びヨードの有力な鉱床を含み、水溶性天然ガスとヨードの生産量は日本一を誇ると言われています。

最後になりますが、造影剤には一定の頻度で次のような副作用が生じることが知られています。軽微なものとして吐き気、動悸、かゆみ、くしゃみ、発疹、発赤が100人中数人に、重篤な副作用として血圧低下、息苦しさ、意識消失、腎不全など、まれに命に関わる副作用が10万人に4人の頻度で生じることがあります。

検査前確認として問診や腎機能チェック等が行われますので造影検査の際はご協力をお願いいたします。

なお、当院では造影剤使用時の副作用発生時の対応として、多職種合同で座学と実践形式の研修会を年に数回実施し、安全安心な医療の提供に努めております。

ろうさい病院無料送迎バス
通院に便利な無料バスを運行しております。（ろうさい病院で乗車または降車される方に限ります）
自治会HP
詳細は、ちはら台自治会連合会のホームページをご覧ください。